

## 脳神経外科

診療科名	脳神経外科（文責者 神保 洋之）
科長名	神保 洋之
診療科概要	<p>1. 2年間の初期臨床研修を修了した医師に対して、脳神経外科のより専門的知識と臨床能力の向上を計るとともに、脳神経外科専門医を目的とした知識、技能を修得させる(脳神経外科専門医取得)。</p> <p>2. 脳神経外科学の各分野、部門のエキスパートがおり、高度な診療と研究について直接指導が受けられる。</p> <p>3. 院内他科との関連部署と有機的な協力態勢があり、集学的医療の研修が可能である。</p> <p>4. 研究に従事して学位取得を目標とする。東京薬科大学および近隣の大学、研究施設との共同研究も可能である。</p>
取得可能認定医専門医	<p>日本脳神経外科学会専門医          日本脳卒中学会専門医          日本脳神経血管内治療学会専門医          日本頭痛学会専門医          日本神経内視鏡学会技術認定医          日本てんかん学会専門医・指導医          日本脊髄外科学会認定医</p>
指定研修施設の名称	日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会、日本頭痛学会、日本救急医学会専門医制度教育施設
修養年限	4年
プログラム 1年次	<p>1) 神経学的診察法のマスター          2) 全身管理の習得          3) 術前・術後管理の習得          4) 神経放射線学的検査法の技術と読影法の習得          5) 一般的外科処置、腰椎穿刺、CVライン設置法、気管切開法の習得          6) 脳神経外科手術：穿頭術（脳室ドレナージ、慢性硬膜下血腫、脳室腹腔短絡術など）、すべての手術の第2助手          7) 学会発表：地方会、院内研修会          8) 実験棟・脳神経外科研究室での顕微鏡下手技の基礎トレーニング</p>
2～3年次	<p>1) 脳神経外科手術：開頭手術における開閉頭術、外減圧術、頭蓋骨形成術、脳室腹腔短絡術、急性硬膜外・硬膜下血腫などの頭部外傷全般、高血圧脳内出血、テント上グリオーマ、転移性脳腫瘍          2) 血管内手術の基本的な手技：血栓溶解療法など（日本脳神経血管内治療学会専門医の指導の下）          3) 実験棟・脳神経外科研究室での顕微鏡下手技のトレーニング          4) 国内外学会発表          5) 症例報告論文作成発表</p>
4年次	<p>1) 脳神経外科手術：major operationを指導医の下、術者として行う。（テント上グリオーマ、転移性脳腫瘍等）          2) 血管内手術手技の訓練          3) 実験棟・脳神経外科研究室での顕微鏡下手技のトレーニング          4) 国内外学会発表          5) 論文作成          6) 日本脳神経外科学会専門医資格取得</p>

後期研修終了後	日本脳神経外科学会専門医資格取得
	日本脳卒中学会専門医（後期研修5年以降） 日本脳卒中の中外科学会技術認定医
	日本脳神経血管内治療学会専門医（後期研修5年以降、個々に応じて）
	日本神経内視鏡学会技術認定医
	日本頭痛学会専門医
	日本てんかん学会認定医
	医学博士（個々に応じて）
スタッフ紹介	科長：神保 洋之（昭和63年昭和大卒）
	須永 茂樹（平成4年昭和大卒）
	橋本 亮（平成14年東京医大卒）
	大塚 邦紀（平成18年東京医大卒）
	須長 正貴（平成26年東京医大卒）
週間スケジュール	
月曜日	脳神経外科・救命救急センター合同カンファランス（隔週） 手術 午前 科長病棟回診 午後 脳血管内治療 脳神経外科カンファランス（症例検討会、抄読会、学会予演）
火曜日	午前 講師病棟回診 午後 病棟回診、血管造影、院内研修会
水曜日	午前 病棟医長病棟回診 午後 病棟回診、脊髄造影、てんかんカンファランス
木曜日	午前 担当医病棟回診 午後 病棟回診、検査
金曜日	脳神経外科カンファランス（手術症例検討会） 脳神経外科・脳神経内科合同カンファランス（隔週） 手術、神経放射線カンファランス
土曜日	病棟医長回診
処遇	給与：学内規定に従う、外勤（1～1.5日/週） 保険：社会保険加入（東京医科大学健康保険組合・厚生年金・労災） 住居：センターで準備、援助
連絡	東京都八王子市館町1163 TEL：042-665-5611、FAX：042-665-1796 東京医科大学八王子医療センター・卒後臨床研修センター 或いは東京医科大学八王子医療センター脳神経外科科長 神保 洋之